

カリキュラム

機構施設名： 静岡職業能力開発促進センター

実施機関名： 株式会社テクノ経営総合研究所

25-22-12-002-037

A生産管理	002生産現場の問題解決
生産・開発計画	

コースのねらい	生産管理を理解し、生産現場の問題を発見、解決できる知識、技能を習得する。
---------	--------------------------------------

講義内容	「基本項目」		「主な内容」	訓練時間 (H)	日 程	
					月 日	時刻
講義内容	1	■ 生産活動の基本	(1)製造業の現状と課題 ～「ものづくり」の基本的な考え方と「生産性」～ 「企業の使命は何か」「日本の製造業を取り巻く環境や課題」について学び、リーダーとして知っておくべき基本的な知識や考え方を理解するとともに、「ものづくり力」を示す指標である「生産性」を理解することで、ものづくり企業の仕事の流れの理解を深める。	1.5時間	令和7年 9月18日(木)	9:30～ 16:30 昼休憩 11:45～ 12:45
			(2)生産活動の基本【演習あり】 ～「チーム力」～ 日々の生産活動を円滑に行なうための組織に必要な要件を学ぶ。特にここでは生産性向上に対してポイントとなる「チーム力」強化について演習を通じてスキルやノウハウを身につける。			
	2	■ 現状分析とムダの発見	(1)問題やムダを発見する力 ～「価値作業」とは、「ムダ作業」とは～ 製造業の現状と課題から「価値作業とムダ作業」を学び、現場で問題やムダを発見する「気づき」の重要性を理解する。	2.0時間		
			(2)現状分析に必要な手法【演習あり】 ～管理監督者の視点～ ものづくり現場における工程管理の重要性や具体的な取組みについて学び、その中で管理監督者が果たすべき役割について理解を深める			
			(3)問題を発見する力【演習あり】 ～実作業での課題を見つける～ 「何が問題なのか」「ムダ作業は何か」「どうすればよいのか」を見つけ出し、実践への方策(切り口やノウハウ)を身につける。			
	3	■ 生産現場の改善	(1)ものづくり現場の5S活動【演習あり】 ～「5S」の真の目的は～ ムダに気づき、ムダを解消することで生産性が大きく向上する。その効果を「5S活動」を題材にして実感することで、改善実践へのモチベーションを高める。	2.5時間		
			(2)改善活動の進め方 ～コミュニケーション～ 現場では「コミュニケーション」を苦手としていることが多い。「現場力」を大きく押し上げる「コミュニケーション」の真髄を考える。			
			(3)現場の経営を考える ～「付加価値を高める」とは～ 経営視点でものごとを考えることはリーダーにとつての必須事項。原価・工数削減・品質向上の意味を理解し、リーダーが身につけておくべき経営の基本を理解することで経営に貢献できるリーダーになる。			
			(4)本日のまとめ ～全員参加で成功体験を～ 自主的で活発な改善活動を行なう職場にするためのキーワードは、全員参加と成功体験。各職場が自律的な職場となる重要性を理解する。			
	合計時間			6.0時間		

カリキュラム作成のポイント

基本的な知識をもとに、これからの仕事の中でどう活かしていくかについて理解を深めていただきます。教科書的な講義ではなく双方向の講義を通じて、考えさせながら「ものづくり企業(製造業)」に関する基本を習得し、リーダーとしての意識を高めることを目標に進めます。様々な業種の顧客との改善活動を通じて得られたコンサルタントとしての知識や経験を、具体的な事例を用いて分かりやすくお伝えし、演習とディスカッションを多用することで学びの定着を進めていきます。